

## 2008年度 JRGA 理事会 議事録

日 時： 2008年2月11日

場 所： 愛知県勤労会館第3会議室

出席者： 長谷川会長、辻理事長、橋本理事、桜井理事、大能理事、星島理事、浜田理事 計7名

1. 開会の言葉： 辻理事長

2. 理事会成立宣言： 長谷川会長が理事36名中出席者7名＋委任状20名で理事会は成立との宣言があった。

3. 議長及び書記の選出： 議長：桜井理事、 書記：橋本理事が選出された。

4. 議事

### 4.1 報告事項

#### 4.1.1 2007年度一般活動報告

各理事より昨年の活動報告があった。(別紙)

#### 4.1.2 2007年度会計決算報告

長谷川会長より2007年度会計決算報告(別紙)があった。

#### 4.1.3 2007年度会計監査

辻理事長より2007年度会計監査が行われ、会計決算に関して問題がないことが報告され、審議後承認

#### 4.1.4 理事離任の報告

光川理事(兵庫)から、理事離任の申し出があり、承認したことが報告された。

### 4.2 審議事項

#### 4.2.1 JRGA 体制と役割について

篠原理事より書面で、昨年の理事会での決定事項の進捗についての確認の提案があり、長谷川会長より7月に臨時理事会も開催が出来なかったが、昨年の決定事項に沿って、逐次改革中との報告があった、以下関連して討議した。

#### 4.2.2 JRGA 年会費に関する件

会費は昨年の理事会の決定を踏まえ、5000→2000円/年に見直した。

既に5000円納入した人については別途整理し、連絡する。

#### 4.2.3 会報発行に関する件

会報発行は1回/年とする。

#### 4.2.4 役員改選に関する件(会長、副会長、事務局)

会長については、今回の JRGA の改革が安定するまでお願いする。副会長は当面欠

員とし、事務局は逐次引継ぎを行う。

#### 4. 2. 5 グランドチャンピオンシップ結果について

2007 年度グランドチャンピオン集計結果が 浜田理事より報告された。(別紙)

#### 4. 2. 6 2008年度会計予算案について

2008 年度会計予算案提示され、承認された。(別紙)

#### 4. 2. 7 2008年度競技会スケジュール調整について

2008 年度競技会スケジュール調整が行われた。(別紙)

以上

#### 【参考】 2007 理事会審議決定事項(抜粋)

会員数の推移などを見ると インターネット等情報が氾濫しているなかで、従来の同好会、会報による情報発信型の活動を続けていくには限界がある。会報発行数を減らし、会費を値下げする方向で考える。JRGA は増加しているライダー愛好者をまとめることができる組織に再編する必要がある。日本選手権をはじめ、各種競技会をコーディネートできる組織としての能力、機能の充実。会員への啓蒙活動が出来る組織への転換を目指す。

従来わかりにくかった 連盟ライダー委員会と、JRGA 理事会の統合、日本選手権、各地大会の参加資格に JRGA 会員義務化を模索する。

それまで 各日本選手権の会計報告は、連盟の場でお願ひする事とする。

JRGA 非会員への世界選手権参加者援助金は今年度限りとする。

事務局業務が特定の理事に過大な負担がかからないよう、理事相互 業務分担することを考える。

7月下旬に臨時の理事会を行い、以上のことを審議する。その場で、合わせて離任意向の、副会長人事について協議する。

## 別紙

2007年度一般経過報告(各理事から地域の活動状況報告を受ける)

- ・大能理事(北陸地区)の報告……昨年は大会が開けなかった。新人の参加がなく、従来からの活動していた方々も少なくなり、更に飛行場所が制限され、ハンドランチ機を行なっているのが主体である。現状では競技会を開催可能な人数を集めきれない。今年も同様か？
- ・浜田理事(関東地区)の報告……昨年度は台風で上里の滑空場が被害を受け、競技会スケジュールが大きく変更となった。まだ影響は残っており、復旧作業中。グライダー人口は横這い？ただ NPO 法人化に伴う地域活動の成果の一つとして、グライダーに若年層が興味を持ち、飛行場に訪れるようになり、また隣のヘリクラブの方々がハンドランチで参加と少し拡がり期待できる。
- ・桜井理事(名古屋地区)……グライダーの東海クラブは3~4名のみの活動となり、場所の制約もあるが競技会が開ける状態でない。
- ・星島理事(兵庫地区)……現在の飛行場所が私有地であり、種々の制約がある中での競技会の開催は困難。今年度も状況は変わらず。グライダー人口も横這いか減少傾向。また四国地区の土器川河川敷も制約が多くなったと聞いている。
- ・橋本理事(大阪地区)……飛行場所の確保が課題である。日本海側まで行けば、河川敷で使える候補地があり、遠くても飛ばせる場所を探し、確保する必要がある。
- ・長谷川会長……関西地区では KMA とサンワ主催の競技会を予定していたが、サンワ杯が雨で中止となり、KMA、JRGA、サンワ共催の大会のみ実施。  
KMA の飛行場について国交省から呼び出しを受け、RC 河川敷 TV 報道により、今後は河川敷の使用が一層困難になる模様。KMA 飛行場も既に許可を貰っているにも拘らず、代替地が決まれば出て行って欲しいとのことであった。